第7回　学校運営協議会　議事録

令和８年11月17日（火）

記録：副校長

参加者：三村委員長、星加副委員長、荒井委員、野島委員、大久保委員、青山委員、
高澤委員　（事務局：宇野、伊藤、三木）

1. 委員長あいさつ
・２学期、学校では多くの行事が予定されており、子どもたちや教職員がそれぞれ努力して取り組んでいることについて挨拶があった。

2. 校長あいさつ
・市教育委員会地域教育推進課からの傍聴者及び、オブザーバーとして本校で研究実習を行っている学生の参加について報告があった。

3. 学校の様子について(生活指導主幹、教務主幹)

【生活の様子について】
・展覧会に向けて、子どもたちが作品の準備を進めるとともに、会場の設営にも取り組んでいる。
・展覧会を通して、友達の作品や活動のよいところを見つける機会にしてほしい。
・前日(11/16)には６年生が会場準備を手伝い、学校のためにすすんで働く姿が下級生の手本となっていた。
・低学年では、学校生活に慣れてきたことによる生活上の約束の緩みが見られる。他学年でも同様の傾向があり、教員全体で共通理解を図り、継続して指導していく。

【児童の様子や校内研究の進捗状況について】
・６年生は卒業に向けて自覚を高め、前向きに学校生活に取り組んでおり、成長が感じられる。
・たてわり活動では、異学年で協力して作品づくりに取り組み、上級生が下級生の面倒を見るなど、縦のつながりを大切にした活動が見られた。
・チーム担任制について、これまでの取組の成果と課題を整理し、まとめを進めている。
・教員同士のOJTが日常的に行われるようになり、保護者対応についても組織的に取り組むことができた。
・これまでの成果や課題を整理し、次年度へ引き継いでいく。

4. クリーン作戦について
・クリーン作戦への協力に対して、感謝の言葉があった。
・第一地区全体の参加者数及び回収したごみの量について報告があった。
・八小は在籍児童数に対して、参加者の割合が高かったことが紹介された。
・資源ごみの分別については、次年度に向けた課題として整理する。
・校長より、保護者も積極的に参加していたことについて報告があった。

5. 展覧会について

・前回からの主な変更点として、たてわり作品、子ども鑑賞ナビゲーター、アートミュージックライブ等について説明があった。
・当日協力いただく学運協委員に対し、主な会場当番の業務内容について説明があった。
・委員の当番は４名で２時間を担当し、30分ごとに役割を交代しながら運営することを確認した。

6. 漢字検定について

・時代の変化を踏まえ、今年度から受検者の保護者自身によるインターネット申込み及び個人決済に方法を変更することについて協議を行った。
・申込み方法の変更について、保護者に分かりやすく周知するため、「申し込み方法が変わりました」という表現を用いることが重要であるとの意見があった。
・受検料の値上がりに伴う受験者の減少についても情報提供があった。
・繰越受験の取扱いについて確認した。

7. 情報交換

・展覧会における写真の取扱いについて話題が出された。
・石川住民協の活動状況について報告があった。
・12月５日に開催予定のウィンターフェスティバルについて紹介があり、参加の呼び掛けがあった。
・学校運営協議会委員・学校コーディネーター合同研修へ２名が参加する旨を承り、事務局が申込みを行うことについて確認した。
・第8回学校運営協議会への予定について情報共有があった。
・子どもたち自身から「ふわふわ言葉を使おう」という機運が高まっていることは、望ましいことであるとの意見があった。また児童主体の取組で、子どもたち自身が言葉の大切さに気付き、望ましくない言動する児童も振り返る機会になっているとの話があった。
・学童保育所及び放課後子ども教室で見られた児童の様子について情報提供があった。
・放課後子ども教室の令和９年度の登録書における変更点について説明があり、登録書と保険料を併せて提出することを確認した。また、今年度からの案内文書の配布・保険料の徴収の仕方について確認をした。
・地域教育推進課の方から、令和９年度はプールの利用等で学校との連携をより密にしていく予定であるとの報告があった。

8. その他

・校長より、八小の実態を踏まえた学校経営の取組の一つとして、チーム担任制を導入するに至った経緯及び現時点での成果についての説明があった。また、研修として聞いた先行実施校の話を受けた教員の変容やアンケート結果についての報告もあった。

次回　第８回学校運営協議会　12月15日（火）16：45～